

# 代表質問・一般質問

## 市の明日を考える!

3月定例会では、初の代表質問が3月5日・6日に行われ、会派の代表者5人が登壇し、市長の施政方針・重要政策等について質問しました。

また、引き続き一般質問が、3月6日から10日の3日間にわたり行われ、15人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

### 代表質問

## 野地 久夫

[市政刷新会議]



- ① 地域住民生活等緊急支援交付金について
- ② 人口減少・定住促進対策について

### 問

- ① ①プレミアム商品券の内容は。
- ② 子育て応援券の内容は。



(子育て支援策は?)

- ② ①特定不妊治療費助成の内容は。
- ② 定住促進住宅取得支援事業の内容は。

### 答

- ① ①二本松商工会議所・あだたら商工会が、1万円で1万2千円分利用できる商品券を7月頃に発行する。
- ② 子育て世帯の生活を支援するため、0歳から15歳までの子供に1人5千円の応援券を支給する。
- ② ①不妊治療費として1回15万円を年2回まで、通算5年延べ10回まで助成する。女性だけでなく、今年度から男性も対象とする。
- ② 住宅を新築・購入する40歳未満の夫婦世帯に72万円、下水道計画区では100万円一括支給する。

### 代表質問

## 佐藤 源市

[あぶくま会]



- ① 工業団地の確保及び企業誘致による雇用促進について
- ② 放射能汚染対策について

### 問

- ① ①27年度新たな工業団地基本計画策定の今後の取組みについて。
- ② 高平復興工業団地計画策定後の今後の取組みについて。
- ③ 周辺地域における均衡ある発展のための企業誘致、雇用対策について。
- ② ①住宅地に隣接する山林除染物の仮置場確保について。
- ② 中間貯蔵施設への汚染物の搬出について。

### 答

- ① ①杉田の長命地内に工業団地を設けるべく、基本構想を策定する。
- ② 長期的財政負担が大きく投資回収(費用対効果)が予測困難。進出企業の動向をみながら検討していく。
- ③ 立地適地として環境等合致する土地の調査を実施し支援策を検討。
- ② ①可燃物のみの収集を行っており、焼却までの保管場所が必要。施工地区の近隣に確保することで検討。
- ② 中継拠点「積込場」を設置する方針。市は積込場まで搬入し、国が中間貯蔵施設へ搬出する計画である。

代表質問

## 菅野 寿雄

[市政会]



- ① 二本松病院における産科医師確保について
- ② 原発事故被害からの復旧・復興対策について

### 問

- ① ①産科医師確保の見通しは。  
②これまでの取り組み内容は。  
③産科医師を確保する主体者は誰か。
- ② ①きこ原木として利用出来なくなった森林資源の活用方策は。  
②再生可能エネルギーとして木質バイオマスの利用に取り組む考えは。

### 答

- ① ①交渉を行い得る大学や病院は見つからず、厳しい状況にある。  
②従来の国や県への要望活動のほか、上京して少子化担当大臣や病院設置母体に要請活動を行った。  
③医師確保の主体は二本松病院であると認識している。行政も一体となって取り組むべきと考える。
- ② ①現在のところ具体的な活用方策はないが、今後検討をして行く。  
②再生可能エネルギーとしての有効性は認識しているが課題も多く、現在は情報収集の段階である。

代表質問

## 斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ① 新たな地域防災計画について

### 問

- ① ①防災計画が見直しされ、原子力災害対策が新たに追加されたが、災害対策について、市ではどのように取り組むのか。  
②原子力災害避難計画で、原発再稼働させないことが、もっとも現実的対策ではないか。  
③安達太良山火山噴火対策は。

### 答

- ① ①非常食・水を毎年5,000人分配備する。水防計画、職員配備、行動マニュアル策定等定期的見直しを行う。昭和56年耐震化前に建築された住宅は11,868戸。耐震診断・耐震改修を支援する。  
②要援護避難者は9,565人。広域避難計画策定を県に要請する。再稼働の答弁は控える。  
③市街地に降灰5～10cm、火山泥流の到達が予想されるため国が砂防対策を計画。今年、防災マップを見直して避難計画を策定する。

代表質問

## 五十嵐 勝蔵

[真誠会]



- ① 定住人口増加対策について
- ② 市長の基本的政治姿勢について

### 問

- ① ①市民の働く場の確保のための企業誘致と新工業団地造成について伺う。  
②二本松病院産婦人科医師の確保について伺う。
- ② 2月臨時会において、不法行為に起因する市の損害賠償に当たり、一般財源200万円を充てることについて、提案理由の説明も含めて最高責任者である市長から謝罪の言葉がなかった。市長の市民に対する基本的姿勢について伺う。

### 答

- ① ①企業訪問等を通し、積極的に企業に対し情報提供と勧誘、企業誘致活動を進めている。新工業団地造成は、小規模の企業が立地できる杉田地区長命地内に新工業団地造成の検討を進めている。  
②二本松病院産婦人科医師の確保に向け、引き続き、病院と市が一体となり取り組んでいく。
- ② 今回の事故については、市長としてその責任を重く受け止めている。心より深くお詫び申し上げる。今後職員の研修・教育を徹底する。